



七ヶ宿中学校

望湖克己学館だより

～2月(如月)を終えて～

「如月」は「木更ぎ」の当て字とされています。「植物の更生」を意味し、この時期から芽が息吹き成長していくということから2月は「如月」とされています。

先日「3年生を送る会」がありました。まさに、1・2年生のこれからの学校を支えるものとしての自覚が芽生え、今後、確実に、頼もしく成長していくことを実感させてくれるような会でした。令和元年度の最終月3月に入ります。この1年間の学びや生活を振り返り、さらに新たな生活に向けての十分な準備を行い、新年度に備えてほしいと思います。

全国中学校スキー大会開催

2月4日～8日の4日間、長野県野沢温泉スキー場を会場として全国中学校スキー大会が開催されました。本校からは、2年生の佐藤由都久さんがクロスカントリー競技に出場しました。結果はクラシカルが93位、フリーが85位でした。この2年間、ずっと「宮城のライバルに勝つ」「前年の自分のタイムを越える」ことを目標として努力し続けてきました。その目標を、この全国大会で達成することができたという報告会での清々しい笑顔はとても印象的で、誇らしく思いました。おめでとう！



七ヶ宿中学校の3年生を送る会

1月31日、生徒会の卒業式にあたる3年生を送る会を実施しました。1・2年生の全員で企画し、運営をしました。「3年生に喜んでほしい。」「3年生に感謝の気持ちを伝えたい。」と一生懸命に準備を進めてきました。当日は、その気持ちが十分に表現され、実に温かく、和やかな会となりました。3年生は緊張した面持ちで入場しましたが、会が進むにつれて笑顔になり、一人一人本当に楽しそうでした。こんなに1・2年生が一生懸命に取り組むのは、3年生が2年生だった時の取組の様子を見ているからです。こうして七ヶ宿中学校の良き伝統が受け継がれていくのだと思います。会が終了して3年生が退場した後、1・2年生が丸くなって座り、振り返りをしました。満足そうな充実感いっぱいの表情でした。後日、3年生の教室では、記念品としてもらったチューリップの球根が芽を出して大きくなったとか、まだ小さいなどと楽しそうに話している5人の姿がありました。



第23回 卒業式

- 期 日 3月7日(土)
- 場 所 七ヶ宿中学校体育館
- 時 間 午前10時より

離任式

- 期 日 3月27日(金)
- 場 所 七ヶ宿中学校給食室
- 時 間 午前8時40分より



七ヶ宿小学校
学校だより

七つの里

異例の雪不足…ひとまずスキー納めです <クロカンスキー 2/6・7>

異例の雪不足は2月に入っても変わらず、スキー場の営業終了に伴って、今年度のアルペンスキーの学習は終了しました。しかし、5日に久しぶりのまとまった降雪があり、翌日の6日から7日に渡り、学年部ごとに体育の授業としてクロカンスキーに取り組みました。高学年は午前中からコース作りを兼ねてグラウンドに出て、1年ぶりの感触を確かめながら滑っていました。午後にはやや解け始めて地肌が見える部分も目立ち始めました。中学年はまだ少しでも雪が多い中心部に向かって、渦を巻くように滑っていました。7日は低学年が、周りのふかふかの雪面で活動しました。七校校舎の前を通ったり、坂道コースを滑ったりしたことがとても楽しかったようで、「アルペンよりも好きかもしれない」と話す子供もいました。これからまとまった降雪がなければ、このままスキー学習は終了となります。



後を皆さんに託します！

6年生が中心になって進めてきた児童会活動を下級生に引き継ぐ会が朝会の中で行われました。今後は、委員会も新体制で進められ、朝の挨拶運動も5年生が行います。5年生の活躍が期待されます。



感謝の思いを伝えました

6年生が最後の授業参観で、家族へ感謝を伝える会を行いました。午前中に子供たちが作ったケーキを親子で食べながら、子供たち一人一人が感謝の手紙を読み上げました。



長縄跳び大会にサプライズゲスト

<長縄跳び大会2/13>

日本テレビの番組「ヒルナンデス」のロケが七小で行われることになり、4校時の全校長縄跳び大会に陣内智則さん、王林さん、黒羽麻璃央さんの3人の芸能人の方々にサプライズゲストとして登場していただきました。子供たちは歓声を上げて喜び、陣内さんからの数々の質問に興奮気味に答えていました。その後は一緒に1分間長縄跳びチャレンジを楽しみました。

縦割り4班に入って1分間の長縄跳びチャレンジ。陣内さんなかなかのジャンプ力でした。

最後に七ヶ宿町のPR撮影を行い、記念撮影をしてロケ終了となりました。

